



1月号
(第430号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部

出会うことの大切さ

教頭 野津義輝



昨夏、『ブルーピリオド』という映画を見ました。この作品は、山口つかささんの漫画を実写映画化したもので、主演は若手俳優の眞栄田郷敦さんが演じたので、ひょっとしてみなさんの中には、観に行ったよという人もいるかもしれないですね。

あらずじを簡単に説明すると、高校の成績は優秀だけど将来の目標もなく、生きている実感が持てず空虚な毎日を送っている主人公、矢口八虎。その彼が高校の美術室で一枚の絵に出会い、芸術系の大学の中で最難関である東京藝術大学（以下芸大）に合格するまでを描いた青春ストーリーです。

私が受験した当時の芸大は競争倍率が科によっては四十倍を超え、その倍率の高さが話題となつて毎年のようにニュースで流れるほどでした。最難関の大学へ合格するためですから予備校での指導は厳しく、時には心が折れてしまいうることも、しばしばありました。そんな時は、同じ目標に向かって頑張っている仲間と励ましあつたものでした。その時に出会った友だちとは四十年以上たった今でも、年に数回集まり、毎回のようになると熱く語り合っています。

映画の中ではいくつもの印象的な言葉（台詞）が飛び交います。その言葉の一つひとつには心がかもつていて、時に心折れそうになる八虎を励まし力を与えます。そして家族や友人、高校や予備校の先生が彼を支えます。ライバルまでもが最後は合格への原動力になります。ストーリーとしてはよくある青春映画のひとつかもしれませんが、同じ道を歩いていた私には深く共感できた映画でした。

映画のタイトル『ブルーピリオド』は、作者の山口さんによればピカソの「青の時代」、自分自身が東京で見た夜明けの「空の色」、そして「青春」から連想してつけたということ。多感な青春時代、毎日楽しいことばかり！というわけにはいかず、思うように物事が進まず悩み苦しむ、それこそ心の中がブルーに染まることもあるでしょう。しかし、どんなに辛い境遇にあつても進むべき道を指し示し、導いてくれる大切な出会いがあるはず。それは人間同士の出会いだけでなく、八虎のように絵画であつたり、音楽や小説であつたり、あるいは誰かの何気ない言葉であつたりするかもしれない。その出会いは何であり、いつ来るかということは誰にもわかりません。でも必ずやつて来ます。もし、今思い悩んでいる人がいたら信じて待っていてください。あなたにも八虎と同じような一生の支えとなる出会いが必ずありますから。新しく始まった二〇二五年がみなさんにとって、いい出会いの年となることを、そして武庫女がたくさんのいい出会いの場となることを心から願っています。

三学期始業式

〜人の命の尊さと、人の心の温かさ〜

一月八日（水）に三学期始業式を行いました。阪神・淡路大震災から、今年の一月で三十年を迎えます。世良田校長から、次のようにお話がありました。



「今年には地震や航空機事故等大変だった昨年とは違い、穏やかなお正月だったと思います。皆さんはどのように新年を迎えようとしていますか。二学期末に話した、『天の蔵に徳を積む』ことを少しは意識した年にしてほしいと思います。今日は、阪神・淡路大震災のことについて話します。今からちょうど三十年前の平成七年一月十七日、午前五時四十六分に、六四三四人もの命を奪った、大地震が阪神・淡路地区を襲いました。その当時の経験や思いを、私たちは決して忘れることはありませんし、忘れてはなりません。その瞬間、神戸・阪神・淡路の街並みは一変しました。

本校は、激震地区の東端に位置していました。生徒・職員には犠牲者が出ませんでした。大切なご家族を失った人は十人を上回り、被災した家は五百軒以上もあつたということです。【続けて、当時の高校三年生の手記の紹介がありました】
本校の校舎の倒壊は免れたものの、グラウンドと校舎の至る場所に亀裂が走つたと記録されています。また、給水と排水の設備が壊滅的打撃を受けました。何とか授業が再開されたのが、約一ヶ月後の二月十三日だったそうです。皆さんには、当時の直接の経験はありません。でも、ご家族から当時のことを教えてもらった人は多いでしょう。書物やニュース等でいろんなことを知った人も多いと思います。

私たちは大切な経験を、こうして区切り区切り確認することによって、次の世代や、別の地域へと継承することができるのだと思います。それが阪神地域で学ぶ私たちの義務でもあります。震災という辛く悲しく恐ろしい出来事が発生したという事実。近い将来、必ず発生すると言われている大地震に備える、防災・減災の大切さ。そして、人の命の尊さと、人の心の温かさ。区切り区切りの確認作業は、着実に皆さんを成長させることにもなると思います。色々な意味で、皆さんがそれぞれ成長できる一年になることを期待し、震災後三十年を迎えた三学期の、始業式の言葉とします。」
校長のお話の後、生徒・教職員全員で黙とうを行いました。

オーケストラ部 第三十三回定期演奏会

オーケストラ部 生徒代表

十二月十五日（日）に武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、「第三十三回定期演奏会」を開催しました。

第一部に吹奏楽、第二部に弦楽合奏、そして第三部に管弦楽の演奏がありました。



全ての演奏を終え、部長・副部長は同級生の高校三年生に三年間・六年間の感謝の気持ちをメッセージとして伝えました。そして、同級生だけでなく、後輩、先生方、そして保護者の方々、これまで支えてくれた方々へ感謝の意を述べました。

最後の演奏をする前に高二以下で各パートの先輩に感謝の気持ちを込めて寄せ書きを渡しました。その後、最後にSEKAI NO OWARI/Dragon Nightを演奏しました。また、サプライズで、高二以下の部員で作成した高三の先輩方に向けた垂れ幕を見せると、先輩方は涙を流して喜んでくれました。

お越しいただいた方々、この一年オーケストラ部を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

カナダからソフトボール選手団が来校!

十一月二十三日（土）・二十四日（日）の二日間、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州から「Mana Softball Academy」のソフトボール選手団が来校しました。チームの監督は日本人で、本校が国際理解教育に力を入れていることを知り、今回の訪問が実現しました。



多忙なスケジュールの中、二日間交流試合を何試合か行うことができました。カナダ選手団の、日本の高校生とは全く違うパワーと、長身から投げられるスピード感抜群のボールに、生徒たちはただただ圧倒されました。試合後にプレゼント交換を実施しましたが、まるで一足早いクリスマス会のような感じでした。二十四日（日）の午後には、教室で交流会を行いました。最初は緊張気味だった選手団の皆さんも、時間が経つにつれて、日本語と英語を交えながら和気あいあいとした楽しい雰囲気でご話していました。

Mana Softball Academy 選手団は「来年も来ます!」とおっしゃっていました。一年後、お互いに技術的にも精神的にも成長して、また再会したいです。

中学一年生に感謝状が届きました

中学一年生は九月二十一日(土)の探究の時間に、甲子園浜のビーチクリーン活動に取り組みました。この活動は、本校の中学生が例年行ってきたものですが、昨年度から西宮市と連携しており、今年は「WORLD CLEANUP DAY」に参加する形で、取り組みました。

WORLD CLEANUP DAYとは、世界中で一斉に地球を清掃する日です。今では、国連加盟国の九十パーセントが参加する活動となりました。昨年一九八の国と地域の一〇一〇万人が参加したこの活動に、今年も中学一年生が参加しました。これからも積極的に地域の美化活動に関心をもち、自ら考え行動できる人に成長してほしいと願っています。



マロニエ賞受賞式

十二月二十日(金)に兵庫県公館で行われたマロニエ賞受賞式に、カヌー部と中学コーラス部が出席しました。



マロニエ賞とは、権威ある大会で優秀な成績をあげ、兵庫県私学の評価を著しく高めた児童生徒等に贈られるものです。マロニエとは、兵庫県なじみの深い木である「トチノキ」のフランス名であり、花言葉である「天分・天才」が、文化・スポーツ等の分野で活躍した生徒等を讃える表彰の名称にふさわしいということで、名称の由来になっています。カヌー部とコーラス部の、マロニエ賞受賞理由は以下の通りです。

令和6年度全国高等学校総合体育大会

- 団体 カヌー競技学校対抗女子 優勝
個人 岩井 瑞希さん(高3) カヌー競技
個人 女子カヤックフォア500m 第1位
個人 安藤 千結さん(高3) カヌー競技
個人 女子カヤックフォア500m 第1位
個人 杉本 深覚さん(高2) カヌー競技
個人 女子カヤックフォア500m 第1位

個人 足高 アンナベレン 應さん(高一) カヌー競技
女子カヤックフォア500m 第1位

第77回全日本合唱コンクール全国大会

表彰式では三十二個人・十二団体が表彰され、各校スポーツや音楽、学問などさまざまな分野での活躍が讃えられていました。

県スポーツ協会からカヌー部の貢献に謝辞!

令和五年度の鹿児島国体と令和六年度の佐賀国民スポーツ大会で、兵庫県は皇后杯五位に入賞しました。皇后杯は、国民スポーツ大会の女子の総合成績上位の県に贈られる賞です。今回の入賞に本校カヌー部の上位入賞が大きく貢献したとして、十二月五日(木)、兵庫県スポーツ協会の船田専務理事と同協会競技スポーツ振興課の横田指導主事が、中高大カヌー部の艇庫を訪問されました。カヌー部のコーチと顧問が立ち会う中、協会の方々から参加メンバーへの謝辞と、今後に向けて励ましの言葉をくださいました。その後、持参の皇后杯二年分の賞状と一緒に記念写真を撮っていただきました。カヌー部の、今後の更なる活躍を期待しています。



あまよう特別支援学校と交流しました

十二月十九日(木)、尼崎市立あまよう特別支援学校との交流会に参加しました。

今回で二十一回目となるあまよう特別支援学校との交流会では、オーケストラ部によるクリスマス演奏会が行われ、素晴らしい音楽を楽しむことができました。また、ボランティア部員との交流会もあり、互いに心温まる時間を過ごしました。さらに、あまようの皆さんから心のこもったプレゼントもいただき、とても嬉しい気持ちになりました。交流を通じて、友情や感謝の気持ちが深まった素晴らしい一日でした。



入試に関するご案内

小・中学生対象 新学年向け施設・授業見学会

日時 2月22日(土) 1部 11時、2部 12時
場所 本校
対象 小学女子児童(保護者同伴)及び中学女子生徒
定員 各部20組限定

現小学4・5年生対象 プログラミング体験会

日時 2月22日(土) 12時45分~14時
場所 本校図書館棟
対象 現小学4・5年生女子児童(保護者同伴)
定員 20組限定
内容 入門編を開催します。Scratchを使って楽しくミニゲームを作ろう。

小・中学生対象 新学年向け部活動見学会

日時 3月8日(土) 13時30分~15時
場所 本校
対象 小学女子児童(保護者同伴)及び中学女子生徒
※いずれのイベントもホームページより申し込んでください。

☆様々な分野での活躍☆

バトントワリング部
第45回関西中学校高等学校バトントワリング大会
兵庫県立総合体育館(12/15)

柔道部
第47回全国高等学校柔道選手権大会兵庫県予選
グリーンアリーナ神戸(12/21)
63kg級 3位 小椋 優希(高2)

その他の分野
第44回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会 日本ガイシアリーナ(12/28・29)
女子500m 第2位
女子1000m 第6位
女子1500m 第2位
総合 2位
木南 更紗(高3)
世界ジュニア選手権出場決定

2月行事予定

Table with 3 columns: Date, Event Name, and High School Event Name. It lists various school activities and exams for February.